

## カンキツ新品種 ‘肥のあかり’の特性

誌名	九州農業研究
ISSN	04511581
著者名	坂西,英 藤田,賢輔 磯部,暁 満田,実
発行元	九州農業試験研究機関協議会
巻/号	67号
掲載ページ	p. 192-192
発行年月	2005年5月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



カンキツ新品種 ‘肥のあかり’ の特性

坂西 英・藤田賢輔・磯部 暁・満田 実<sup>1)</sup>  
 (熊本県農業研究センター果樹研究所・<sup>1)</sup>熊本県立農業大学校)

Masaru Sakanishi, Kensuke Fujita, Akira Isobe and Minoru Mituta :  
 Characteristic of New Citrus Cultiver ‘Hinoakari’

これまでの極早生ウンシュウには、9月下旬から出荷可能で品質良好な品種がなかったため、この時期に出荷できる品質良好な‘肥のあかり’を育成した。以下に育成経過と特性の概要を報告する。

1. 育成経過

本品種は1991年に果樹研究所植栽の‘日南1号’を種子親に‘ジョッパオレンジ’を花粉親に交配して得られた珠心胚実生群から選抜した。同年12月に胚培養、1992年2月に胚芽接ぎを行い、1992年5月に3年生鉢植えカラタチへ寄せ接ぎを行い65個体を養成した。1993年4月に優良個体を獲得しやすい葉や枝条の形態の個体を選抜し、同年に17個体、1994年に7個体について、適応性検定試験を開始した。1996年から結果始め、果実特性調査を行った結果、個体番号「N-64」は、これまでの極早生より、熟期が早く、品質も優良である等の際だった特徴が認められ、2001年12月25日、‘肥のあかり’の名称で種苗法に基づく品種登録出願を行った。

2. 特性の概要

樹姿は中間型で、‘日南1号’に比べて樹勢が強い。枝梢は分岐角度が狭く、新梢の密度は中で、春梢はやや太く、長い傾向にある。新梢伸長は旺盛で樹冠拡大が早い。当初は春梢および夏梢にトゲの発生が見られるが、結果を始めると次第に消失する。春葉の大きさは中で、‘日南1号’とほぼ同様である。

果実の大きさは、平均65g程度で対照品種に比べ小さい。果形指数は130程度で扁平である。着色は、9月上旬に始まり、下旬には6分程度、10月上旬にほぼ完着となる。果皮色、果肉色ともに橙色が強い。

果汁成分は、‘日南1号’と比較して、‘肥のあかり’はクエン酸含量が低く、高糖度であり、2000年から2002年の3か年平均の糖度 (Brix) は13.1、クエン酸1.16g/100mlであり、‘日南1号’と比較して糖度で1.6高く、クエン酸含量は0.35g/100ml低かった。‘豊福早生’

と比較して糖度で2.0高く、クエン酸で0.1g/100ml低かった。

以上のことから‘肥のあかり’は‘豊福早生’出荷前の9月下旬から出荷可能で、樹勢が強く、高品質極早生ウンシュウとして期待できる。



写真1 カンキツ新品種 ‘肥のあかり’ の結果状況

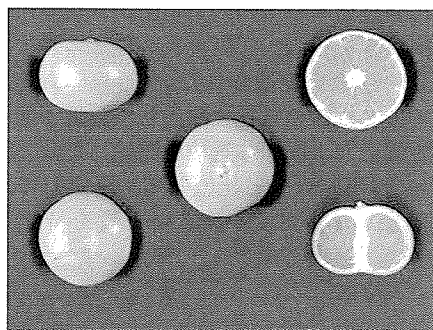


写真2 カンキツ新品種 ‘肥のあかり’ の果実

第1表 ‘肥のあかり’ の樹体特性と枝葉形態

品 種	樹姿	樹勢	葉				春 梢			
			葉身長	葉幅	葉柄長	葉面積	基部径	長さ	節間長	トゲ数 <sup>a)</sup>
			cm	cm	cm	cm <sup>2</sup>	mm	cm	cm	本
肥のあかり	中間	やや強	11.1	4.58	2.04	33.4	5.4	21.0	2.59	5.73
日南1号	中間	中	11.4	4.60	1.74	33.8	3.7	14.1	1.85	0.00
豊福早生	中間	強	12.0	5.75	1.94	45.5	4.2	16.1	2.03	0.47

注) いずれの品種も普通温州高接ぎ3年目。

a) トゲ数は春梢1本あたりのトゲの本数。

第2表 ‘肥のあかり’ の果実特性

品 種	平均果重	果実横径	果形指数	果肉割合	果 皮		果 肉 色		着 色	
					着色割合	果皮色 <sup>a)</sup>	果肉色		着色始期	完着期
							カラーチャート	カラーチャート		
g	cm	%	%							
肥のあかり	65.0	5.45	133.6	79.1	6.5	6.8	7.8	9月上	10月上	
日南1号	92.9	6.41	128.8	80.4	3.8	3.4	7.1	9月上	10月上	
豊福早生	84.3	5.94	135.3	81.9	1.7	2.8	6.9	9月上	10月上中	

注) ‘肥のあかり’ ‘日南1号’は‘豊福早生’高接ぎ同一樹であり、‘豊福早生’はカラタチ次代近隣樹である。いずれの年も7月中旬にシートマルチ実施。調査日：2000. 9. 18, 2001. 9. 20, 2002. 9. 26。

a) 田農林水産省果樹試験場作成のカラーチャートを用い、果頂部の最も着色が進んでいる位置を測定。

第3表 ‘肥のあかり’ の年次別果実品質

品 種	2000年		2001年		2002年		3か年平均	
	Brix	クエン酸含量	Brix	クエン酸含量	Brix	クエン酸含量	Brix	クエン酸含量
		g/100ml		g/100ml		g/100ml		g/100ml
肥のあかり	11.9	1.31	13.8	1.17	13.6	1.01	13.1	1.16
日南1号	11.1	1.75	11.8	1.34	11.6	1.44	11.5	1.51
豊福早生	10.1	1.25	11.5	1.29	11.8	1.24	11.1	1.26

注) 調査樹および調査日は第2表と同一。